

## 1. 自己評価及び外部評価結果

作成日 令和3年1月25日

## 【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4690101920
法人名	医療法人 聖心会
事業所名	認知症対応型共同生活介護 まごころ照国
所在地	鹿児島県鹿児島市照国町7番地17号 (電話) 099-813-7260
自己評価作成日	令和2年12月3日

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	<a href="http://www.wam.go.jp/content/wamnet/pcpub/top/">http://www.wam.go.jp/content/wamnet/pcpub/top/</a>
-------------	---

## 【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	NPO法人自立支援センター福祉サービス評価機構
所在地	鹿児島県鹿児島市星ヶ峯四丁目2番6号
訪問調査日	令和2年12月28日

## 【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

認知症の状態であっても、家庭的な雰囲気の中で共同生活を通して、個々の意思やライフスタイルを尊重しながら自立支援に向けた介護を心掛けております。場所は照国神社境内の近くにあり周囲は城山を背景に、住宅街に囲まれ賑やかな場所をなっております。天気の良い日には屋上から鹿児島市街地や桜島を眺望でき、地域に根差した明るく開放的な施設です。

## 【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

- ・当事業所は、サービス付き高齢者住宅や有料老人ホーム・看護小規模多機能型居宅介護を含む複合型介護施設に併設されている。施設全体で職員の協力体制を築き、避難訓練等も合同で実施している。運営母体の医療法人及び施設内事業所の看護師との協力・連携体制が整っており、安心して過ごせる医療環境である。
- ・自治会に加入し、地域行事や近くの幼稚園・小学校との交流に取り組んで来たが、コロナ感染防止の為に地域との交流を自粛している。その中で、小学生からの手作りクリスマスカードを贈られたり、台風の際は町内会長と避難路について話し合うなど、地域とのつながりを大切にしている。
- ・家族との面会・外出を自粛しているが、予約制の家族との面会やテレビ電話・窓越し面会の実施により、利用者・家族双方の精神的な安定を図り関係が途切れないように支援に取り組んでいる。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>I. 理念に基づく運営</b>					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている	法人の理念をもとに実践している。理念に基づいたケアになるように会議やミーティング、情報共有を目的とするノートなどを用いて意見交換やケアの振り返りに取り組んでいる。	法人理念を基に作成した事業所の理念を事務室に掲示し、毎月の会議時に唱和している。ケア会議や申し送りノートで振り返りを行い、理念に沿ったケアに努めている。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	今年度は、新型コロナウイルスの影響にて、地域の幼稚園・小学校との交流する機会ができずにいる。以前はクリスマス等の季節の行事合わせて訪問して頂いており状況が落ち着いてきた際には、再度交流できるように取り組んでいく。	自治会に加入し、地域行事や近くの幼稚園・小学校との交流に取り組んで来たが、コロナ感染防止の為に地域との交流を自粛している。その中で、小学生からの手作りクリスマスカードを頂いたり、台風の際は町内会長と避難路について話し合うなど、地域とのつながりを大切にしている。	
3		○事業所の力を生かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている。	今年度は新型コロナウイルスの影響にて、地域の方への交流が難しい状況である。以前は地域行事に参加し認知症への理解を深める交流の場ともなっていた。今後状況が落ち着いてきた際には、再度交流を図り、認知症への理解を深めいくよう取り組んでいく。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
4	3	<p>○運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>新型コロナウイルスの影響にて運営推進会議の開催も中止となっている。開催ができない状況ではあるが、民生委員や知見者、地域包括の職員などへ内部状況や内部行事の様子などファックスや郵送にて資料配布させて頂いている。</p>	<p>コロナ感染防止の為、委員へ資料送付による状況報告や課題報告など行い、面会の取扱いやコロナ対策の取り組み状況等を発信している。電話や手紙などで意見や要望が寄せられ、台風の際の避難経路について、意見交換を行っている。</p>	
5	4	<p>○市町村との連携</p> <p>市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる。</p>	<p>新型コロナウイルスの影響にて運営推進会議の開催も中止となり開催ができない状況ではあるが、地域包括の職員へ内部状況や内部行事の様子などファックスや郵送にて資料配布させて頂いている。また、担当者へ電話連絡を行い相談ができています。</p>	<p>市の担当者とは、窓口に向いて相談等を行ったり文書の郵送、電話でも困難事例を報告し、相談や利用者の暮らしぶり・ケアの様子を伝え連携を図っている。市のウェブ研修会に参加予定である。</p>	
6	5	<p>○身体拘束をしないケアの実践</p> <p>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。</p>	<p>身体拘束廃止委員会を中心に身体拘束をしないケアの取り組みを実施している。委員会による研修会を通して知識を深めたりx z理解できるように努めており、言葉のかけ方にも注意している。</p>	<p>法人で指針の整備や3ヶ月毎に委員会、年2回の研修会を実施している。委員会等は伝達報告を実施し、職員全体で共有している。見守りの重要性を全職員が理解し、馴れ馴れしい言葉遣いに気をつけている。玄関の施錠はせず、横の事務室で職員間の連携により、利用者の自由な生活を支援している。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている。	虐待防止についての理解の研修であったり、職員へのチェックリストを活用して把握に努めている。また、職員への面談を行い悩みやストレスが軽減できるように取り組んでいる。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。	権利擁護や成年後見制度についての研修を行い、全職員への理解、周知について取り組んでいる。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。	利用開始前にご自宅に訪問し、利用契約書や重要事項説明書の十分な説明を行っている。利用開始前にあたり不安や疑問などお聞きしご理解を頂くと共にご本人にも利用前にはお越し頂き説明を行っている。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	以前は新型コロナウイルスの影響にて面会制限を行っており、テレビ電話による面会を実施し、また定期的にご本人の様子を伝える為連絡を行っていた。その際にはご意見を伺う事もあり、現在は感染対策のもと面会制限を緩和して、意見を聞ける機会も設けられている。	利用者からはおやつ時や夜間・入浴中の会話の中から意見や要望を聞いている。家族からはガラス越しの面会やテレビ電話で意見や要望を聞いている。手紙でも情報収集に心がけている。地域交流室での面会も実施している。乳酸菌飲料や漬物など食品摂取についての要望も受けている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	○運営に関する職員意見の反映  代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。	職員が意見を言いやすい雰囲気や関係性に努めており、どのような意見でも会議の場にて皆で話し合いを行っている。また面談時にも意見等を伺う事もあり、日々のケアに反映されるように努めている。	会議で出された提案や要望が、素早く届くようにしている。業務中でも職員からの意見等が良く出され、浮腫軽減の為のマッサージや義歯装着の工夫等を日々のケアに取り入れたり、個々の咀嚼力等の変化に応じた食事形態で対応するよう給食会議で提案し、反映している。	
12		○就業環境の整備  代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。	法人の上層部、管理者同士での会議の場にて、就業環境の整備および各自の就業状況の把握、情報共有を行い検討して働きやすい職場環境、条件の整備等に取り組んでいる。		
13		○職員を育てる取り組み  代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	新規採用時のオリエンテーション、日誌の活用などを実施し職員の力量を把握するように努めている。今年度は外部の研修への参加が難しかったが、様々な内部研修を実施しスキルアップができる様に取り組んでいる。		
14		○同業者との交流を通じた向上  代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	新型コロナウイルスの影響にて相互訪問はできなかったが電話にて連絡を取り合う事ができ、今後も職員交流ができるように取り組んでいく。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	事前に情報収集を行い本人にあった入居の方法を考えている。ご家族とも連携を取り安心して過ごして頂けるよう信頼関係の構築に努めている。また本人の要望を必ずお聞きしプランに反映している。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	入居前には訪問し、家族の困りごとをお聞きしている。入居後も家族とこまめに連絡を取り、信頼関係の構築に努めている。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	本人と家族の状況を把握し事前に来て頂くなどの必要な支援を行っている。他のサービス事業所とも連携を図り入居が決まった時など行き来をして、情報をもらうようにしている。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	共に生活させて頂くという姿勢を大切にし、時には職員が利用者頼ったり甘えたり、何かする時は相談するなどしている。喜怒哀楽が出せるようお互いが家族のような関係作りをしている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		<p>○本人と共に支え合う家族との関係</p> <p>職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている</p>	<p>日頃からこまめに連絡をとったり、面会時などには少しお話をさせて頂いたりコミュニケーションが多くなるよう働きかけている。近況の報告や良いエピソードなどを伝えたり、今後のケアの方向性を相談したりと、本人の今後の生活を共に考えていけるように関係作りに努めている。</p>		
20	8	<p>○馴染みの人や場との関係継続の支援</p> <p>本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている</p>	<p>新型コロナウイルスの影響にて家族以外の方の面会は遠慮させてもらってはいるが、電話やテレビ電話などにて対応している。また、要望時にはガラス越しの面会も実施している。</p>	<p>家族と地域交流室で面会したり、電話や手紙・テレビ電話・ガラス越し面会等で利用者が少しでも精神的やすらぎができるように支援し、これまでの関係が途切れないように努めている。</p>	
21		<p>○利用者同士の関係の支援</p> <p>利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている</p>	<p>利用者同士、交流が持てる様に橋渡しを行っている。また、気の合う人同士が一緒に作業をして頂いたり、いつもの席とは違うところで話をして頂くなど、利用者同士の関りが多く持てるように努めている。</p>		
22		<p>○関係を断ち切らない取り組み</p> <p>サービス利用〈契約〉が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている</p>	<p>病院に入院後にご家族と連絡を取り、本人・ご家族の様子を確認している。また、退所されたあとにも、相談、連絡が気軽に行えるように努めている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	日々の生活の中での何気ない会話や、難しい際には家族から直接聞いてみたりして希望、意向の把握に努めている。また連絡ノートを活用し職員間で情報共有が図れるように取り組んでいる。	日々のケアやマッサージ施行時等に本人の思いを把握するように努めている。困難な場合は、家族からの情報や本人の表情・仕草・反応や連絡ノートで得た情報から、職員間で情報を出し合い、支援している。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	事前に本人、家族から生活歴を確認しアセスメントシートに記載している。これまでの暮らしの情報は生活する上でヒントがあると考えており把握に努めている。また新たに得た情報は随時追加し、共有している。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	一日の様子をパソコンや業務日誌に記録して、職員は出勤時に確認し申し送りを受けて利用者の状態把握に努めている。また毎日バイタル測定を行い、体調管理にも努めている。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	本人や家族、他職種の意見も踏まえて介護計画を作成している。定期的にモニタリングを行い、必要時にはカンファレンスを開き現状に即した支援ができるように取り組んでいる。	本人や家族の希望を聞き、担当者会議を実施し、主治医、看護師等が、利用者や家族と相談して介護計画を作成している。6ヶ月毎にモニタリング及び計画の見直しを実施している。状況変化時にも現状に即した介護計画に変更している。	



自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	プランの実施記録と共に日々の様子や変化など必ずケース記録に入力し、申し送りノートなどで共有している。本人の言葉や想いを記載しその後のプランの見直しに活かしている。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	新型コロナウイルスの影響にて、外出や外泊は難しい状況ではあるが、食べたい物や昔の写真など、ご家族と協力してその時々生まれたニーズに対応できるように取り組んでいる。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らし方を文えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	新型コロナウイルスの影響にて、地域資源を活用する事が難しい状況ではあるが映像などで昔の様子や地域行事を観る事によって楽しめるように促している。		
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	協力医療機関の主治医が2週間に1回の訪問診療を行っている。その他、以前から通われていた歯科や専門医などと協力して適切な医療が受けられるように取り組んでいる。	契約時に本人・家族の希望するかかりつけ医を確認し、家族の協力も得て受診を支援している。協力医療機関の月2回の訪問診療や併設事業所の看護師による週1回の健康管理を実施し、適切な医療を受けられるよう支援している。複数医療機関と協力関係を密に結んでいる。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p>	併設事業所に看護小規模多機能型居宅介護があり、健康相談や体調不良時において何時でも相談、報告ができています。また週に1回は併設看護師が利用者の健康チェックを行っている。		
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	入院時には情報提供を行い本人・家族が安心して治療できるように主治医や担当看護師とも話し合いを行っている。できるだけ早期に退院ができるように努め、家族と一緒に対応や注意事項などの説明を聞き取り関係作りを行っている。		
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	重度化、終末期に向けた看取りの指針を家族に説明し同意を得ている。状況に応じて家族、看護師、主治医を含めて話し合いを行っており納得のいく終末期が過ごせるように努めている。	看取り指針を家族に説明し、同意書ももらっている。状況の変化に応じて家族の意向を確認し、支援に取り組んでいる。看取り介護希望の場合は、家族・医師・職員で話し合っって対応し、主治医・看護師と連携し全職員で方針を話し合い、安心して最後が迎えらる体制ができている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	<p>緊急時の対応を内部研修として取り入れており、また連絡体制も整備されている。緊急時についての研修も毎年行っており、緊急時の実践力を身に付けていくよう取り組んでいる。</p>		
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<p>今年度は年に3回災害訓練を予定している。新型コロナウイルスの影響にて、地域住民の参加は難しいが、以前は地域の方とも協力して取り組んでいた。今年度は専門職による設備の再確認を実施し災害に対しての意識を強めている。</p>	<p>施設全体での災害訓練を昼夜想定で年3回予定しており、消防署の立ち会いは1回ある。以前は町内会長や地域住民の参加協力を依頼していたが、今年度はコロナ感染防止の為、職員のみ参加である。緊急通報装置に町内会長の登録協力を得ている。防火管理者を中心に非常災害時の対策について研修を実施し職員の理解と経験を積んでいる。非常用備蓄は、水・米・ラーメン・レトルト食品等があり、カセットコンロ等も確保している。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保  一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	1人ひとりがこれまで歩まれた人生を尊重し、言葉使いや声掛け、接遇等の研修も実施している。また職員同士が良い意味でお互いが注意し合える環境作りにも努めている。	接遇研修を実施し、人としての尊厳を大切に、言葉遣いや声かけは年長者として尊敬の気持ちを大切に配慮している。自分にされて嫌なことはしないことを基本に、言葉かけや対応をしている。さん付けでの呼びかけや入室時のノック・同性介助に取り組んでいる。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援  日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	例えば衣類の選択であったり、飲みたい物であったりと、小さな事柄でも本人が自己決定しやすい様に働きかけている。		
38		○日々のその人らしい暮らし  職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	食事や休憩したい時間など、それぞれが思う時間でできるように工夫したり、対応したりと臨機応変に行っている。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援  その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している	着たい洋服を選んで頂いたり、好きな色を選んでもらいネイルを試みたりと、本人がしたい身だしなみができるように働きかけている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
40	15	○食事を楽しむことのできる支援  食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	委託している会社から提供される食事を、利用者と一緒に準備している。それぞれに合った食事形態に変えたり、ときには食べたい物を聞き出し、家族とも協力して食べたい物を食べて頂いている。	個々に応じた食事形態で提供しており、配膳、テーブル拭き、食器洗いを利用者と一緒にしている。給食会議で好み等を話し合い、季節の行事食の提供や誕生日のケーキ・宅配の寿司などの注文をして食事を楽しんでいる。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援  食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	1日の食事量、水分量ともに記録に残し把握に努めている。また食べやすい様にお皿や箸を変えてみる等、その人に合った食事環境になるように取り組んでいる。		
42		○口腔内の清潔保持  口の中の臭いや汚れが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後口腔ケアにを行い、自分でされる方にも仕上げ磨き、口腔内を確認して清潔になるように努めている。義歯は夕食後、洗浄している。		
43	16	○排泄の自立支援  排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	排泄の際には毎回記録し、その人の排泄リズムが把握できるように努めている。自立した人への声掛けや、必ず便座に座っての排泄になるような支援を行っている。	排泄チェック表で個々のパターンを把握し、動作や表情など、小さな情報も共有し、日中はトイレでの排泄を支援している。夜間のみ、身体状況等に応じパットやオムツを使用する利用者もいる。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	看護師や主治医と相談しながら、便秘への改善に努めている。飲食物の工夫のほかに、時には腹部のマッサージや看護師と連携して排便が出るように対応している。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している	入浴は基本午前中であるが、本人の要望やその時の体調、状態に応じて臨機応変に対応している。また環境や本人の羞恥心にも配慮した支援を行っている。	週2回午前中の入浴を基本に実施しているが、希望により柔軟に対応している。入浴順番や湯温・入浴時間は体調や意向に合わせて気持ち良い入浴支援をしている。希望での同性介助や必要時の2人介助・シャワー浴を実施し、入浴を拒む利用者には同性介助や職員の交替を行い、声掛けを工夫している。無理強いない入浴を心がけている。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	就寝時間はそれぞれで違う為、その人に合わせた就寝時間にて休んで頂いている。日中も本人の意向に沿って休憩されている。		
47		○服薬支援 一人ひとりを使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	利用者毎に内服を管理し、効能や副作用・用途等の把握に努めている。薬も一つ一つ三重にチェックし、服薬時も飲み忘れがない様に最後まで確認している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	今までされてきた事をできるだけ継続していけるように役割を持って頂いたり、歌や色塗り、裁縫など好きな事や得意な事も継続できるように支援している。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。	今年度は新型コロナウイルスの影響にて、外出する機会が減っている。以前は生け花展覧会やおはら祭を見学しに行くなど行っていたが、今年度はドライブや近隣の散歩など感染対策を行いながら感染リスクの無い外出支援を行っている。	天気の良い日は近隣の散歩をしている。初詣や花見・そうめん流し・コスモス見物・紅葉狩り・外食等の計画をしているが、コロナ感染防止の為、実施が難しく少人数のドライブや車窓からのコスモス見物等の支援をしている。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	当事業所では「預り金」はしておらず、必要時には家族に説明して頂いている。必要時には職員と一緒に買い物される方もおられる。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している	職員が代行して電話をかけお話をされたり、家族や知人から電話の取次ぎも自由にできる。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
52	19	○居心地のよい共用空間づくり  共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	季節に合わせて花や飾り物を用意して季節感を味わえるように行っている。トイレや各居室には分かりやすいように表示をし、今からの季節は気温とともに湿度にも注意している。	リビングは日当たりが良く、加湿器や空気清浄機・エアコンを使用して温度・湿度を適度に調節すると共に換気も行っている。季節に応じた作品や壁飾り・庭のプランターの花で季節を感じてもらえるように工夫している。ソファや椅子があり、利用者が好きな場所で快適に過ごせる環境作りに取り組んでいる。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり  共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	天気の良い日は外で日光浴をされたり、ソファでゆっくり過ごされている。座席も仲の良い人同士と一緒に活動ができる様に臨機応変に工夫をしている。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮  居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	自宅で使用されていた家具をそのまま使って頂いたり、馴染の物や思い出の物を飾って頂いたりとそれまでの暮らしが継続できる居室環境になるように工夫している。	居室にベッド・2つのタンス・エアコンが備えてあり、使い慣れた寝具やタンス・テレビ・三面鏡・加湿器等を持ち込み、写真・塗り絵・ぬいぐるみ・化粧品等を身近に置いて、これまでと同じような生活環境で安心して過ごせるようにしている。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり  建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	一人ひとりの力量に応じ、使いやすく、安全に生活が送れるように家具の位置など配慮している。カレンダーなど手に届く位置に置き、自分で日にちが分かるようになど、少しでも自立した生活が送れるように工夫している。		



## V アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)		1 ほぼ全ての利用者の
		○	2 利用者の2/3くらいの
			3 利用者の1/3くらいの
			4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1 毎日ある
			2 数日に1回程度ある
			3 たまにある
			4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない

60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)		1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
		○	3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30,31)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らせている。 (参考項目：28)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9,10,19)	○	1 ほぼ全ての家族と
			2 家族の2/3くらいと
			3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)		1 ほぼ毎日のように
			2 数日に1回程度ある
			3 たまに
		○	4 ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)		1 大いに増えている
		○	2 少しずつ増えている
			3 あまり増えていない
			4 全くいない
66	職員は、生き生きと働いている。 (参考項目：11, 12)	○	1 ほぼ全ての職員が
			2 職員の2/3くらいが
			3 職員の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1 ほぼ全ての家族等が
			2 家族等の2/3くらいが
			3 家族等の1/3くらいが
			4 ほとんどいない